

## 【第三者証明の記入例】

### 初診日に関する第三者からの申立書（第三者証明）

私（申立者）は、障害年金の請求者 \_\_\_\_\_ の初診日頃の受診状況などを知っていますので、以下申し立てます。

請求者の名前を記入してください。

#### 知ったきっかけ

私（申立者）が申し立てる請求者の受診状況などは、

1. 直接見て知りました。
  2. 請求者や請求者の家族などから聞いて知りました。
- なお、聞いた時期は（昭和・平成 年 月 日）（頃）です。

#### 請求者との関係

見た（聞いた）当時の関係： \_\_\_\_\_ 現在の関係： \_\_\_\_\_

○傷病名： \_\_\_\_\_ ○初診日： 昭和・平成 年 月 日（頃）

○医療機関名・診療科： \_\_\_\_\_ ○所在地： \_\_\_\_\_

申立者が知っている当時の状況等

※記入いただく内容は、別紙「初診日に関する第三者からの申立書（第三者証明）」の記載事項に準じて、申立者が見たり聞いたりした当時知った内容のみを記入してください。

記入者全員に同じように書いてもらいましょう。

発病から初診年月日までにどのような症状があったのか、

日常生活へはどのような支障があったのか、

その状況を知った経緯を含めて記入してもらいましょう。

例えば、①初診日当時の症状について知った経緯、②発症してから初診日のある病院を受診するまでの間のことや受診したきっかけ、③病気が原因で日常生活や仕事に影響がでていた状態、といった流れであれば記入しやすいです。

【申立日】平成 年 月 日

<申立者>

住 所： \_\_\_\_\_

連絡先： \_\_\_\_\_（ ） 氏 名： \_\_\_\_\_ ㊞

※ 訂正する場合は、二重線で消した上で訂正印を押印してください。

※ 後日、申立者あてに申立内容の確認をさせていただく場合がございます。平日日中でもご連絡が可能な電話番号を記入してください。

※ ご記入いただいた個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱われます。